新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧（令和２年度）

（単位：円）

番号	事　業　名	総事業費	内　訳				本交付金充当経費	事業の概要・実施状況 ①概要 ②実施状況	事業の効果・評価
			国庫補助金	起債額	その他	補助対象外経費			
1	水道事業会計補助	58,382,476	0	0	0	0	58,382,476	①新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染拡大の影響を受けている住民生活等を支援する施策として、水道使用料金のうち、基本水量に伴う使用料金の減免を実施。その水道使用料金の減収分及び減免に伴うシステム改修に要する経費に対する補助金を交付した。 ②水道使用料金減免額：75,652,936円（実施期間：令和2年5月～令和2年10月利用分） ・対象者数（延べ件数） 一般用：158,612件、病院用：36件、浴場用：6件、工場用：684件 ・減免額（税抜） 一般用：455円/月、病院用：3,340円/月、浴場用：12,100円/月、工場用：4,900円/月 ・水道料金システム改修費用：815,900円 ・大阪広域水道企業水減免額：▲18,086,360円	一般家庭及び事業者の経済的負担の軽減に寄与した。
6	休業要請支援金（府・市町村共同支援金）事業	68,000,000	0	0	0	0	68,000,000	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態措置により、大阪府から休業の協力要請等を受け、特に深刻な影響を被っている中小企業・個人事業主を対象に、支援金を支給した。（大阪府と市町村で1/2ずつ負担） ②高石市における支給額　136,000,000円（うち1/2にあたる68,000,000円を高石市が負担） ・法人：26件×10,000,000円＝26,000,000円 ・個人：220件×500,000円＝110,000,000円	特に深刻な影響を受けた中小企業・個人事業主等の事業継続の下支えに寄与した。
12	GIGAスクール構想への支援事業	438,405,000	0	0	0	130,860,000	307,545,000	①市立小中学校に対して、１人１台のタブレット端末の配備とともに、これらを有効活用するためのICT環境を整備した。 ②Chromebookの配備、ベネッセのAIドリル並びに授業支援ソフトの導入、小学校へのプロジェクター及びスクリーンの常設を実施した。	１人１台端末の早期整備に伴い、学校における誰一人取り残すことのない、公平で個別最適化された学習を実現することができたとともに、AIドリルによる復習を可能とした持ち帰り学習も行い学習の遅れを取り戻すことができた。 また、いつ臨時休校となった場合にも、ICTを活用した家庭への連絡やオンライン学習を可能とする環境も整えることができた。
13	修学旅行バス費用補助金	6,153,718	0	0	1,130,996	0	5,022,722	①感染予防を講じ、修学旅行を安全に実施するため、バスの台数の増便やキャンセル料等、市が経費を補助した。 ②市内小中学校１０年間校すべてにおいて活用した。	バスの増便や日程変更に伴うキャンセル料等、新型コロナウイルス感染症の予防対策としてかかる追加費用を市が補助することにより、保護者の経済的負担の軽減に寄与した。
18	学校保健特別対策事業費補助金	36,183,229	16,731,000	0	0	2,720,229	16,732,000	①市立小中学校に対して、感染症対策として様々な消耗品及び備品を配布した。 ②非接触型体温計、飛沫防止パーテーション、扇風機、空気清浄機、バイオ抗体フィルター、家庭学習用通信費、アルコール、手洗い石鹸を購入した。	令和2年6月の学校再開後、教室等の換気に加え夏場の暑さにも対応するため扇風機や空気清浄機、空調用バイオ抗体フィルターを購入した。また、マスクを外す給食時を中心に飛沫防止パーテーションの購入や、臨時休校時の学習の遅れを取り戻すべくモバイルルーターを活用してオンライン学習を実施した。以上のような感染症対策を施したことにより、感染拡大を防止することができた。
19	市内消費活性化事業	135,800,526	0	0	0	0	135,800,526	①新型コロナウイルス感染拡大の影響で落ち込んだ消費を喚起し、市内の消費拡大と地域経済の活性化を図るため、商品券を活用した事業を実施した。 ②市内の３店舗以上で発行されたレシートを、２０枚以内で合計３万円以上となるように集めて、専用の応募シートで申し込むと、抽選で２万名に5,000 円分の商品券が当たる事業である。 11月分と12月分のレシートを対象に各月１万名の応募を行った。	・11月分の応募 応募件数：9,755件 応募レシートの合計金額： 約3億 2,700万円 ・12月分の応募 応募件数：18,712件 応募レシートの合計金額：約6億1000万円 ・11月分と12月分の合計 応募件数：28,467件 応募レシートの合計金額：約９億3,700万円 　当選者に送付した１億円分の商品券を合わせ、約１０億円以上の経済効果に寄与した。
15	児童扶養手当受給者臨時特別給付金	20,051,000	0	0	0	0	20,051,000	①ひとり親世帯(児童扶養手当受給者等)に対して市独自の給付金の支給を実施した。 ②１世帯あたり３万円を支給(令和２年７月実施)533件15,990,000円支給。 更に、国のひとり親世帯臨時特別給付金の再支給実施にあわせて、１世帯あたり３万円を再支給。(令和２年12月実施)533件15,990,000円	ひとり親世帯の経済的負担軽減に寄与した。
16	児童扶養手当受給者臨時特別給付金	4,200,000	0	0	0	0	4,200,000		
24	児童扶養手当受給者臨時特別給付金	8,081,276	0	0	0	0	8,081,276		